

学校歯科検診と歯の治療の重要性

学校歯科医 栗田 正明

学校の歯科検診は、子供の健康発育にとって、とても重要です。治療が必要と診断された場合は、歯の健康を維持するために、速やかに受診し治療する必要があります。

近年、歯の病気が口の中にとどまらず、身体全体に影響を与えることがわかってきました。むし歯や歯周病が原因で心内膜炎や脳膿瘍のような危険な病気にかかる可能性もあります。

「乳歯はいずれ永久歯に生え変わるから、むし歯のまま放っておいても大丈夫」は間違いです。子供のむし歯は、将来の生活に大きく影響します。乳歯が健全か、正しく治療されているかは、後の永久歯の歯列だけでなく、大事な成長期の身体の発育にまで大きく関係します。

歯科では、子供の歯磨き指導やシーラントの塗布、フッ素塗布等を行ない、むし歯の治療にはドリルを使わないレーザー治療も行っています。

家庭、学校・職場での歯磨きはとても大切です。しかし、ブラッシングが十分でなく、プラーク（歯垢）が付着すると、歯や歯肉の健康を維持できなくなる場合もあります。プラークの中にはむし歯や歯周病の原因になる細菌が数多く存在します。その細菌が歯面に付着して増殖し、薬剤や免疫等が効きにくくなるバイオフィルムを形成します。バイオフィルムを形成したプラークは日常のブラッシングだけでは、なかなか除去が難しくなります。その場合は、歯科医、歯科衛生士によるプロフェッショナルクリーニングが必要となります。

むし歯がないと自己判断せず、むし歯になる前に、むし歯が悪化する前にできるだけ定期的に歯科を受診し、歯の健康を維持することが大切です。歯科医では、歯面や歯肉の状態を精査し、必要に応じて歯石、プラーク、着色等を除去します。それが、歯と歯肉の健康を守り、将来の健康長寿につながります。